

テーマ(他教科と道徳授業の関連の工夫)

指導者 T1 佐々木仁美

T2 福田 祐子

1 学 年 第5・6学年

2 主題名 「よりよい校風」 (4－(6)愛校心)

3 ねらい 上級生・最上級生としての役割を自覚し、学校に愛着をもち、進んで自分達の学校をよりよくしていこうとする態度を養う。

4 資料名 「せんぱいの心を受けついで」(出典:「小学校 道徳 6 明日をめざして」 東京書籍)

5 本時の主題について

高学年としての役割を自覚し、その責任の大きさを理解してほしいと考える。そして、さまざまな活動を通して、自分達の学校である“筒賀小学校”を大切に思い、みんなと力を合わせて、積極的によりよい学校をつくっていこうとする態度を養いたい。

6 本時の主題に係る児童生徒の実態について

児童は日々、高学年としていろいろなところで様々な役割を果たしたり、時には悩んだりしながら学校生活を送っている。それは、これまでの高学年の姿がそうであったからということもあろうし、複式学級で過ごす中で、5年生が時には6年生の役割を果たしたり、6年生が直接5年生に教えてあげたりすることなどで、高学年としての自覚を高めてきたのかもしれない。1年間の折り返し地点を過ぎた今、また、学習発表会という大きな行事、特に6年生は小学校生活最後の発表会を前に、改めて自分達の学校である“筒賀小学校”のよさやこれからの自分達の過ごし方について考えることで、より一層、自覚や仲間意識を高めることができると考える。

また、校風という面についても、これまでの先輩たちの姿を思い出しながら、筒賀小学校らしさを自分達の言葉で語るできるようになればと考える。

7 資料について

広美は栽培委員会に入ったが、希望した委員会ではなく、そのうえ肥料いじりをしなければならず、気が進まない。しかし、「二人二鉢運動」ということで、1年生の健一と組むことになり、一緒に作業をしたり、菊の育て方や作業の手順を調べて自分達で工夫したりしていくうちに、きれいな花を咲かせようという積極的な気持ちに変わっていく。

8 指導過程の工夫

① テーマに係っての工夫

2学期の大きな学校行事である学習発表会成功に向けて、学級発表の練習はもちろん、全校での合唱や合奏、係の準備など、本学級の児童は、一致団結して取り組んでいるところである。このような学校行事での自分達の取り組み方と関連させながら、“筒賀小の伝統・校風”について、児童に実施したアンケート結果・保護者からのメッセージ等を導入・終末に用いて授業構成を考える。

② 発問の工夫

米屋のおじさんの「菊づくりは学校の誇りだよ」の言葉を、どう広美が受け止めているのかを中心に、栽培委員になったところの広美の気持ちからの変容について考えさせるようにしたい。そうすることで、校風というものをより自分のものとして感じることができると考える。

③ 導入・展開・終末の工夫

展開の前半では、「希望してなった栽培委員ではない」ことを手がかりに、菊づくりに消極的な主人公広美に共感し、後半では1年生の健一が存在から上級生としていい加減な仕事はできない主人公の心の変化、さらには先輩の米屋のおじさんの作文を読み、より自分達の学校への愛着を深め、校風を大事にしていこうとする主人公の心の変容に気付かせるような板書にしたい。また、導入・終末の場面で、児童のアンケート結果を用いて、より自分達の学校づくりについて関心をもって、話し合い活動ができるようにしたいと考える。

9 準備物

ワークシート 挿絵のコピー アンケート結果

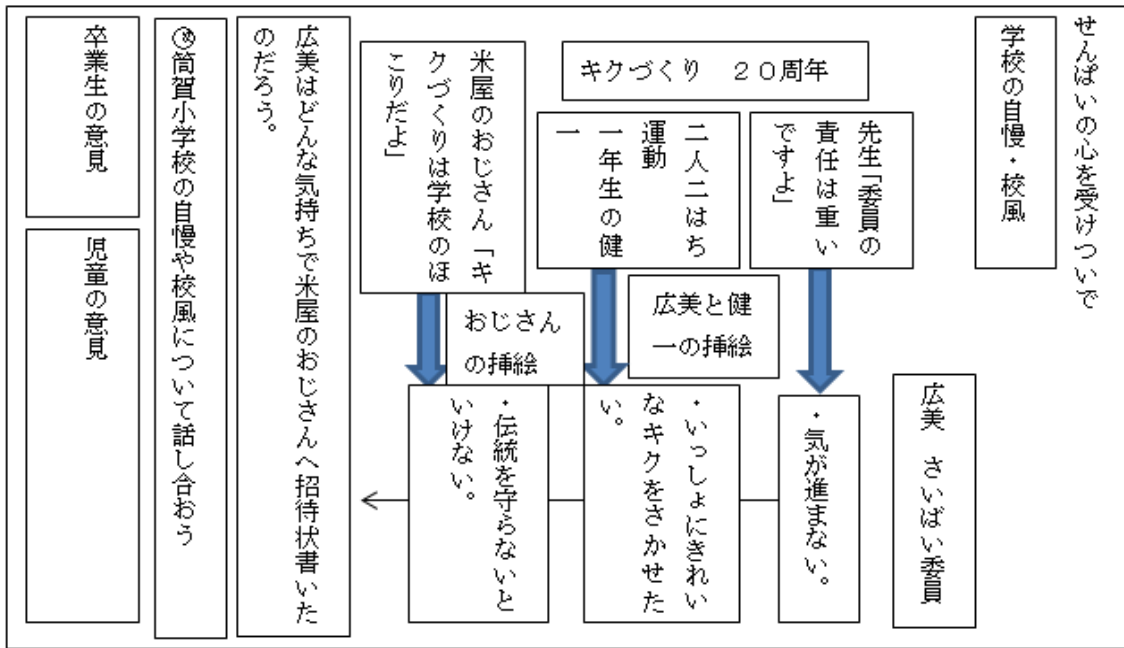
10 授業の展開例

	学習活動	主な発問と予想される 児童生徒の心の動き (◎中心発問)	指導形態		指導上の留意点 (☆評価の観点)
			T1	T2	
導入 5分	①自分達の学校で自慢できることや誇りに思うことについて出し合う。	○筒賀小学校の自慢、筒賀小学校らしきとはどんなことでしょうか。アンケートの結果を予想してみましょう。 ・みんな仲が良い。 ・校庭が芝生。	発問	掲示	・5・6年児童のアンケート結果の上位3つについて考えさせる。
展開	②「せんばいの心を受けついで」の前半を読んで話し合う。 (～88ページ5行目まで読む。)	○栽培委員になった広美はどんな気持ちだったでしょう。 ・嫌な仕事がたくさんある。 ・好きで入った委員会ではないので、やめたい。 ・希望の委員会ではないけど、しっかりやろう。 ○1年生の健一と組んで作業を続けるうちに、広美の気持ちはどう変わってきているでしょう。 ・健一が頑張っている。自分も頑張らなければ。 ・一緒にきれいな菊を咲かせたい。	範読 発問	板書 構造化	・菊づくりに消極的な広美の気持ちに共感できるようにする。 ・健一を前に上級生として責任ある仕事をしなければいけないという気持ちの変化に気付かせる。

展 開 1 5 分	(~88ページ6行 目以降を読む。)	<p>○米屋のおじさんの作文を読んで、また、おじさんの話を聞いて、広美はどんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校にはこんな伝統があったんだな。 ・菊づくりを守っていくのは自分達だ。伝統を守らないと。 <p>◎広美はどんな気持ちで米屋のおじさんに招待状を書いたと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじさんの時代からの学校の誇りを今も大切にしています。 ・先輩として私たちの菊をぜひ見てほしい。 	<p>範読 発問</p> <p>発問 机間指導</p>	<p>板書 構造化</p> <p>机間指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の誇りだよ。」という言葉を受けて、広美自身が褒められている感覚になったのはなぜか、また、伝統を引き継ぐために自分が頑張らなければならないという気持ちに変化していることに気付かせる。 ・後輩として自分達が伝統の菊づくりを受け継いでいることを知らせなかった広美の気持ちに気付かせる。 <p>☆米屋のおじさんに招待状を書いた広美の気持ちを共感的にとらえているか。(ワークシート)</p>
	<p>㊦ 筒賀小学校の自慢や校風について話し合おう。</p>				
資 料 離 れ 2 0 分	③ 自分達の学校の自慢や校風について話し合う。	<p>○筒賀小学校の自慢や校風についてもう一度考えてみます。ここで筒賀小学校を卒業されたみんなの先輩や筒賀小学校のことを応援してくださっている方々から筒賀小学校の自慢や校風などについてもらったメッセージを紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1200人の学校を卒業したので、校長先生・教頭先生と話すことはできませんでしたが、筒賀小では全部の先生と話せたり、みんなと遊べたりするのがいいですね。 	<p>提示</p>	<p>机間指導</p> <p>板書</p>	
		<p>○みんなも他にはどんなものがあるかグループで話し合い、私たちの道徳162ページに書き込んでみましょう。全体でも交流しましょう。(グループ→全体)</p>	<p>発問 机間指導</p>	<p>板書 机間指導</p>	<p>☆自分達の学校の自慢や校風について進んで話し合うことができたか。(私たちの道徳)</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・全校遊びやスペシャルデーなどがあるのいい。 ・クリーン活動やエコキャップ集めをがんばっている。 		板書	
終末5分	④今日の学習を振り返る。	○今日の学習のまとめとして、みんなで校歌を歌って終わりましょう。	CD操作		

11 板書例



12 ワークシート

○自分の考えと友達のを考えをくらへながら聞きましたか。◎ ○ △
○自分自身の気持ちで考えを述べることができましたか。◎ ○ △

◎簡賀小学校の自慢や校風について話し合おう。
☆簡賀小学校の自慢や校風についてグループで話し合おう。
『私たちの道徳』P.162に書き込みましょう。学級全体でも交流しましょう。



☆広美はどんな気持ちで米屋のおじさんへ招待状を書いたと思いますか。